

# 館報

# はた



平成 29 年 5 月 1 日 現在

世帯数	6,059 戸
人口	15,746 人
男	7,593 人
女	8,153 人

## 活力のある地域に向けて

町会連合会長 安藤洋一

風薫るさわやかな5月、本年も波田地区の肥沃な大地で農家の皆さんが活動を始め、特産のスイカ畑もビニールのトンネルで覆われスイカの定植作業が始まりました。さて本年度、波田地区の町会連合会長を務めさせていただきます。4区の安藤洋一です。もとより、町会を代表する器ではありませんが、皆様のご協力をいただく中で微力ではありますが、波田地区の発展のために力を注ぎたいと思っております。

私も昨年1年間、町会連合会の員として活動してきました。それぞれの団体の皆さんが波田地区を元気にする事業に取り組まれ、ご努力をいただいていることに、あらためて感謝申し上げます。

私は自営業で、45年間商売をしてきました。そして、その間学んだことは「調和」と「つながり」ということでした。まず人とのつながりができ、そして、心のつながりに、また



絆が少しずつ深まり、地域とつながっていくと思えます。「つながりなくして、地域の発展はない」と思います。行政も商売(事業経営)も共通するものがあると思えます。町会活動は、日々の生活を送るうえで欠かせないものです。地震や大きな災害時には、地域の安心・安全の要となる存在でもあります。人とのつながりが、大切で重要な要素だと思います。

6月18日(日)には、町会連合会が主体となつて波田地区内の防災訓練も予定しています。もしもの際の危機意識を高めていただきたいと思えます。

7月に開催されている「水輪花火大会」と「さいさい祭」は年々来場者も増え、松本市の西部地域の大きなイベントに成長しています。また、合併後に始まった福祉ひろばの「ひろば祭」も500名を超え

る参加者で盛り上がり、ひろばの活動も順調に運営されていることが観えます。

また、波田地区内で一番の関心でありました市立病院の移転候補地については、昨年度に町会連合会も市に波田地区内への建設要望をしてきました。その結果、市の方針として建設候補地を波田地区内の宮地エンジニアリング(旧宮地鉄工所)跡地に選定し、建設に向けて具体的な調整が進められることになりました。波田地区住民としては、ほっとしております。

新しい市立病院が地域にどのような関わり、波田地区の地域づくりと連携していけるか、町会連合会としても住民の皆さんとともに住民サイドからの研究を進める必要があると思っております。

一方で、平成26年6月に発足した「まちづくり協議会」も町会連合会との連携のもとに、3年間活動してきました。各種団体との連携や波田地区内の大きなイベント等の支援を目的とし、「住民主体」の組織として発足したわけですが、発足当時の目的に沿った方向性や活動内容が明確に示されず、住民の皆さん協議会の活動が浸透していないのでは、との声が聞かれています。町会連合会では、本年1年かけてまちづくり協議会と検討を進め、具体的な活動内容と必要

な活動費を住民の皆さんに示し、平成30年度から新しい事業内容と組織で活動が行えるように理解をいただく取り組みを進めていく予定です。波田地区の皆さんが元気に幸せに暮らしていくためには、まちづくり協議会は必要な組織です。この協議会が核となつて、楽しい集まりが活動する波田。笑顔があふれる波田地区の活動を実施し、活力ある地域に育てていきたいと考えています。そして、波田地区が大きく変わろうとしていることは、中部縦貫自動車道の長野県で唯のインター(波田インター)ができることです。日本列島の中心、長野県、その中央に位置する我が松本平の波田です。波田インターより北へ安曇野く大町(山麓線)と南東の新臨空工業団地く松本空港ラインへ東西、南北の道路網の整備により、「平成の追分宿」ができることで、経済波乃効果が期待できると思えます。また新しい企業誘致策にもつながることでしょう。北信は北陸新幹線、南信はリニア中央新幹線の時代となりました。中信平は道路網の整備で中信地区の発展につながっていくと思えます。スピードをあげ、進めていただくよう要望いたします。

最後に、波田地区内の住民の皆様には町会活動及びまちづくり協議会活動に関心を持っていただき、自分達の住む地域をより良く

するため、ご協力をいただければと思えます。

よろしくお願いたします。

平成29年度人事異動による波田公民館職員体制について

公民館長 古波田 守  
館長補佐 高木 勝  
(波田支所長補佐と兼務)  
主査 山本 哲仁  
嘱託職員 上條 康恵  
臨時職員 向井 由奈

以上の体制で公民館業務を運営していきます。よろしくお願いたします。

所感 く公民館業務

4年目を迎えて、公民館主事 山本 哲仁

26年4月の人事異動で波田公民館に勤務するようになり、早いもので4年目を迎えました。

初めて携わる生涯学習の業務でしたが、住民の皆さんや職員の方々に支えていただき、3年を過ぎることができました。

波田地区の方々は、まちづくりや生涯学習への取り組みが大変熱心で、多くのことを教えていただいています。微力ではありませんが、波田地区の発展にも貢献していきたいと思えますので、今後ともよろしくお願いたします。

# うれしい入学式

長かった冬もようやくやく終わり、桜のつぼみも少しずつ膨らみ始めた4月上旬、波田小学校の入学式が行われました。お陰様で、私の孫も3月に保育園を卒園し、無事に小学校の入学式を迎えることができました。



分らないことだらけで当然です。登下校は大丈夫？勉強は？仲良く遊んでる？先生の言うことはきいてる？そんな親の悩みは、今も昔も変わりません。

小学校の時期は、色々なことを学び、色々な経験を積み、お友達との集団生活を学ぶ、大人になっても必要な基礎的な知識を身に付ける大切な時期です。昔は、隣近所みんなで子育てをしたものです。新米のお父さん、お母さん、周りを見渡してみてください。ベテランの先生が沢山います。学校の先生はもちろん、ベテランのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、沢山の先輩がいます。どうか周囲の、地域の、家族の、先生の力をもっと借りてみてください。皆で子ども達の健全な成長を楽しみながら、見守っていきたいと思います。

入学式当日は、お父さんとお母さんを手を引かれながら小さな体に大きな真新しいピカピカのランドセルを背負い、恥ずかしそうなうれしそうな顔で出掛けて行きました。昔は黒色と赤色が主流だったランドセルも、今は青色・緑色・ピンク・茶色・水色と様々で、私達の目を楽しませてくれます。

子ども達も期待の中に緊張や不安もあるであろう新しい生活のスタートです。ベテランの親御さんもうらっしゃいます。初めてのお子さんの入学で、子ども達と同じ気持ちの親御さんも多くいらっしゃると思います。子どもが1年生なら、親も1年生です。



## 役員紹介

**平成29年度 町内公民館長会 公民館専門委員会の各代表が決まりました。**  
1年間よろしく お願いいたします！

### ◎町内公民館長会

- ・会長 忠地 英夫(23区)
- ・副会長 本木 和久(10区)

### ◎文化委員会

- ・委員長 和泉 康子(9区) <歴史担当>
- ・副委員長 村上 太一(27区) <文化祭担当>
- ・副委員長 麻田 仁郎(12区) <イベント担当>

### ◎体育委員会

- ・委員長 堀田 秀一(15区)
- ・副委員長 川上 秀樹(13区)
- ・副委員長 松岡 元康(14区)

### ◎館報編集委員会

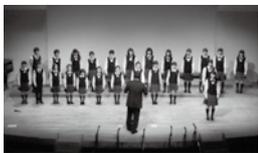
- ・委員長 駒瀬 修二(13区)
- ・副委員長 尾上美佐子(14区)

## これからの主な波田地区行事予定(平成29年度)

- ①オール野球大会
  - 予定日 5月28日(日)、6月4日(日)2日間
  - 会場 5月28日 中央運動広場、梓水苑グラウンド、波田学院グラウンド
- ②ソフトバレーボール大会
  - 予定日 6月4日 中央運動広場 波田学院グラウンド
  - 会場 波田体育館 波田中学 校体育館
- ③まほろばウォーク
  - 予定日 7月2日(日)
  - 会場 波田体育館 波田中学 校体育館
- ④波田文化祭
  - 予定日 10月15日(日)
  - 会場 波田公民館 波田体育館 波田文化センター
- ⑤バレーボール大会
  - 予定日 11月4日(土)・5日(日)
  - 会場 波田体育館 波田中学 校体育館
- ⑥マレットゴルフ大会
  - 予定日 11月19日(日)
  - 会場 下島マレットゴルフ場 上川原マレットゴルフ場



ソフトバレーボール大会



文化祭

4月中旬 仁王尊股くぐり祭りの波多神社境内。小学生らの「いらつしゃいませ」の大きな掛け声と、時折、仁王尊の方から幼児の泣き声が響き渡っていました。

地元高齢者クラブの皆様方が、祭りを盛り上げておられました。拝殿近くにテントが設置され、お地藏さんのマスコット人形等と力もちが販売されました。この力もち販売には、地元の小学2年生と地元の役員が交代でお手伝いをしていいます。私は、昨年からの役員を仰せつかり、今年で2回目の体験となりました。

その時の情景が忘れられません。股くぐりを済ませた親子連れが、参道を拝殿に向かって来る姿は、どの家族も無事終えた安堵感で何ともいえない清々しい表情でした。いつの時代も子を想う親の気持ちに変わりはありません。また、ある母親はテントの方に近づいて来て、手作りのマスコット人形に見入り、販売をしていた高齢女性に「これって皆さんが作ったのですか」と聞いていました。そして、子どもと一緒に日用品を買い求めていました。春の日差しに映え、心地良い光景でした。